

平成 29 年度 第 2 回 高P連高校生育成員制 幡多地区

連絡研修協議会 報告書

運営委員会 記録

1. 開会行事 13:00～

- (1) 幡多地区運営委員長挨拶
- (2) PTA 連合会会長 挨拶
- (3) 四万十高校 PTA 会長・学校長挨拶

2. 協議 13:05～

- (1) 「バイク 3ない 運動」について
 - ・県 PTA の意向について説明(豊嶋校長:四万十高等学校)
 - ・幡多地域も県内の方向性に合わせるよう意思統一
- (2) 前回の協議会等も振り返りながら、
 - ・四万十高校 再建について
 - PTA 同窓会、小中学校での説明会について触れる旨を確認
 - 協議会の議題として扱う
- (3) 自転車保障について
 - ・各保険会社からの説明が協議会で行われる。

3. PTA 連合会事務局長より連絡

- (1) 「平成29年度 高知県教育長・高知県高等学校 PTA 連合会長表彰」受賞について
幡多地区からは以下の 3 名が受賞
 - 林 和利 様 (高知県立四万十高等学校)
 - 岡村 寛之 様 (高知県立幡多農業高等学校)
 - 野浪 由美 様 (高知県立中村高等学校西土佐分校)
- (2) 平成30年度 全 P 連表彰について
 - ・表彰:3 月推薦→8 月表彰となっていたが、前倒しになる可能性がある。

(3) 地区助成金について

- ・2月15日までに決算書送付（四万十高校宛てに）

(4) 来年度 中四国大会について

- ・例年金曜日だったが→水曜日実施となる予定

(5) 全国大会(佐賀大会)について

- ・宿泊場所が十分にはない
- ・貸し切りバス1台、ジャンボタクシーを利用の予定

(6) 事務所移転について

- ・教育センター分館の取り壊しに合わせて県立豊学校の一室を借りるようになる。
→TEL/FAX 番号変更→学校宛てにて連絡があるとのこと

4. その他

(1) 全体協議後の「その他の事項」について

- ・確認事項: 来年度「大方高等学校」が当番校

協議会 記録

1. 開会行事:13:35～

(1) 開会のことば

四万十高校 PTA 副会長 田辺 様

(2) 幡多地区運営委員長挨拶

四万十高校 PTA 会長 林 様

・高校の連絡のみでなく、育成につながるものであるような協議となるように繋げて行くことを確認。

(3) 高知県教育委員会 生涯学習課長挨拶

生涯学習課 社会教育支援担当チーフ

「これからの子どもたち」:時代の変化の中で、その変化に合った力を身に付けることができるように。

(4) 来賓紹介

高知県高等学校 PTA 連合会 事務局長 中村 様

生涯学習課 社会教育支援担当チーフ

全体会

1. 保険会社からの説明(学生向け各保障制度の仕組みについて) 各社5分 程度

◎MS 高知<総括>

PTA 賠償責任保険+任意保険

高知県は自転車保険の加入率が低い(自動車保険の未加入割合も高く、全国ワースト3に入る)

任意保険にも入る方が望ましい

自転車も重い責任がある

募集締め切り後に申込とならないようにする

■あいおいニッセイ同和

■三井住友海上

■東京海上

※各社の保険内容については社毎の資料を確認して下さい。

※『高校生総合保障制度』について

<事務局より>

変更点: 来年度から、保護者が直接申し込んだ保険について、申し込んでいるかの確認が事務局に問い合わせをすると分かるようになるとのこと。

2. 各校参加者紹介

(1) 次の順番で各校から参加者の紹介

幡多農業高校

大方高校

宿毛工業高校

宿毛高校

清水高校

中村高校

中村高校西土佐分校

四万十高校

※ここで、「平成29年度 高知県教育長・高知県高等学校 PTA 連合会長表彰」受賞について、表彰の報告

3. 各校 PTA 活動報告 (14:20～)

各校提出資料に基づき、各単P会長から報告を行った

4. 生徒指導の取り組みと課題 (14:45～)

各校より資料に基づき、生徒指導部から報告

協議会参考資料

- ・再編振興計画に係る地域会に関して

その他

(1) 生涯学習課

- ・「平成 29 年度 高知県社会教育実践交流会」H27～の取り組み
- ・初めて高校での実施（@高知農業高校 1月27日）
「地域学校協働活動推進フォーラム in 南国市」（1月28日）（文部省主催）

★バイクの3ない運動

県の指導方針に沿って幡多地区も

★幡多地域 育成員制度 補助金

2月15日締め切り

講演 記録

これからの子どもたちに求められてくる力 （15：45～16：45）

高知大学 准教授 鹿嶋 真弓 様

ソーシャルスキル：①配慮のスキル ②人とかかわるスキル

- ・「何を話していいかわからない」「正しい答えをいわなくては」と考え、コミュニケーション取れない
- ・「損をしないためのスキル」→「カーッととなった時どうすべきか」
＝アンガーマネジメント
叱られ慣れ→防御するため→再犯

学習性無力感：努力を重ねても望む結果が得られない状況が続く（頑張る子に多い）

小さな挫折の繰り返しをする方が陥りやすい

ex. 浅間山荘

たてこもった学生の親は「足りなかったものは挫折」と答えた

学習指導要領の改訂：「アクティブラーニング」という言葉が消え「主体的・対話的・深い」学び

Active→①動的 / ②内的（見えない）

→②の方が大切：答えのない課題に取り組む力。

ex. 政治（過疎化とめるには？等）

自主 / 主体

自主：やることは分かっている、人から言われる前にやる

主体： // ことも分かっている、自分で考えて行う（よりよくするため）

★怒りの感情と上手く付き合う力

- ・コーピングマントラ；怒りのピークは6秒
- ・自分を落ち着かせるための対処法・決め台詞を「子どもと一緒に考えてみる」
- ・怒る理由は「自分の理想」と「現実」のギャップ
- ・怒りのコントロール方法：高校生くらいで身に付けたい。ため込んで、思わぬタイミングで爆発することがないよう
- ・アンガーログ：「書く」とメタ認知が働く
- ・今の子ども「もやもやする・わからないこと」があってもそのままにして、分からないままにしてしまうことが多い。暗記しかしたことがない生徒は特に。「ひらめく・もやもや→すっきり」を味わうことができるよう。
- ・自己内対話ができるようにする：「こっちがいい？」「それとも？」
- ・コピー&ペーストでつぎはぎをすると、でき上がるが、自分の思いは入っていない
- ・答えを知らないのではない、答えの出し方を知らない。

大切なのは「内発的動機付け」

～質問～

Q. ヒントを与える先生方が授業をしてきた。H30年度～といったが、急に変わっていきけるのか。

A.段階的に取り組んでいく必要がある。文科省は理念は話すが、具体例は提示しないので、現在、現場の教員も研鑽を積んでいるところ。1つのモデルとなるものを提示できればと考えている。

謝辞：四万十 PTA副会長 田辺様

閉会行事（16:50～

四万十 PTA副会長 田辺様